

婦人科腫瘍委員会

委員長 永 瀬 智

副委員長 川 名 敬

委員 小林 裕明, 小林 陽一, 添田 周, 田畑 務, 寺井 義人,
西 洋孝, 馬場 長, 横山 良仁, 吉野 潔, 渡部 洋

専門委員会幹事 徳永 英樹

1. 常置的事業

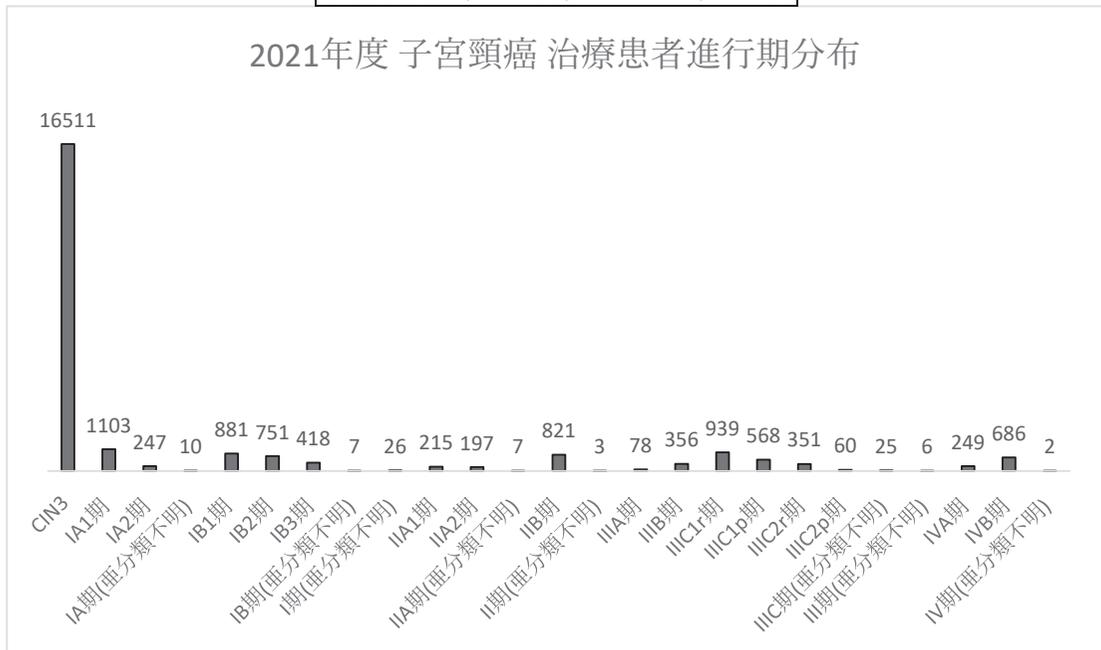
婦人科悪性腫瘍のオンライン登録事業として、2014年度より東北大学病院臨床研究推進センターと契約し、以下の項目を遂行している。

- (1) 2021年の婦人科悪性腫瘍症例(子宮頸癌, 子宮体癌, 卵巣腫瘍(悪性, 境界悪性), 外陰癌, 陰癌, 子宮肉腫, 子宮腺肉腫, 絨毛性疾患)のオンライン登録事業を行った。
- (2) 加盟479機関より2021年1月1日から12月31日までに治療を開始した子宮頸癌, 子宮体癌, 卵巣腫瘍(悪性・境界悪性), 外陰癌, 陰癌, 子宮肉腫, 子宮腺肉腫, 絨毛性疾患症例を集計・解析し症例

の患者情報および2016年治療開始症例の予後情報を集計・解析し、疑義照会を行った上で、学会HP並びに日産婦誌に、2021年患者年報として報告する。以下に2021年患者年報の抜粋を示す。

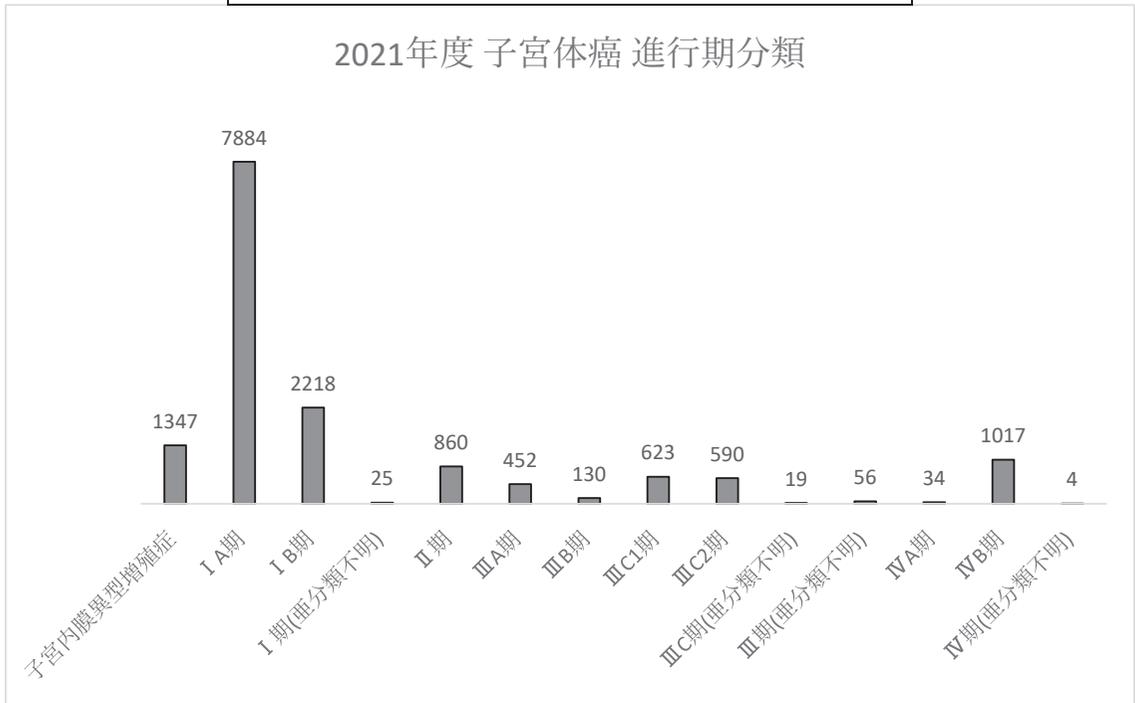
子宮頸癌 8,006 例, CIN3 16,511 例

2021年度 子宮頸癌 治療患者進行期分布



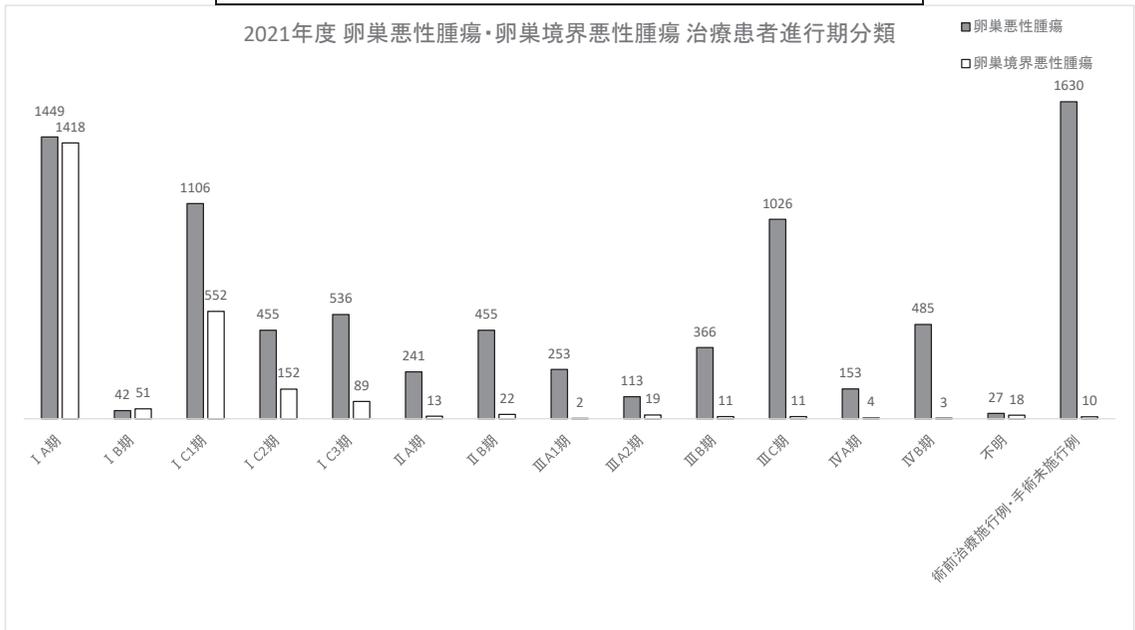
子宮体癌 13,912 例, 子宮内膜異型増殖症 1,347 例

2021年度 子宮体癌 進行期分類



卵巢恶性腫瘍 8,337 例, 卵巢境界恶性腫瘍 2,375 例

2021年度 卵巢恶性腫瘍・卵巢境界恶性腫瘍 治療患者進行期分類

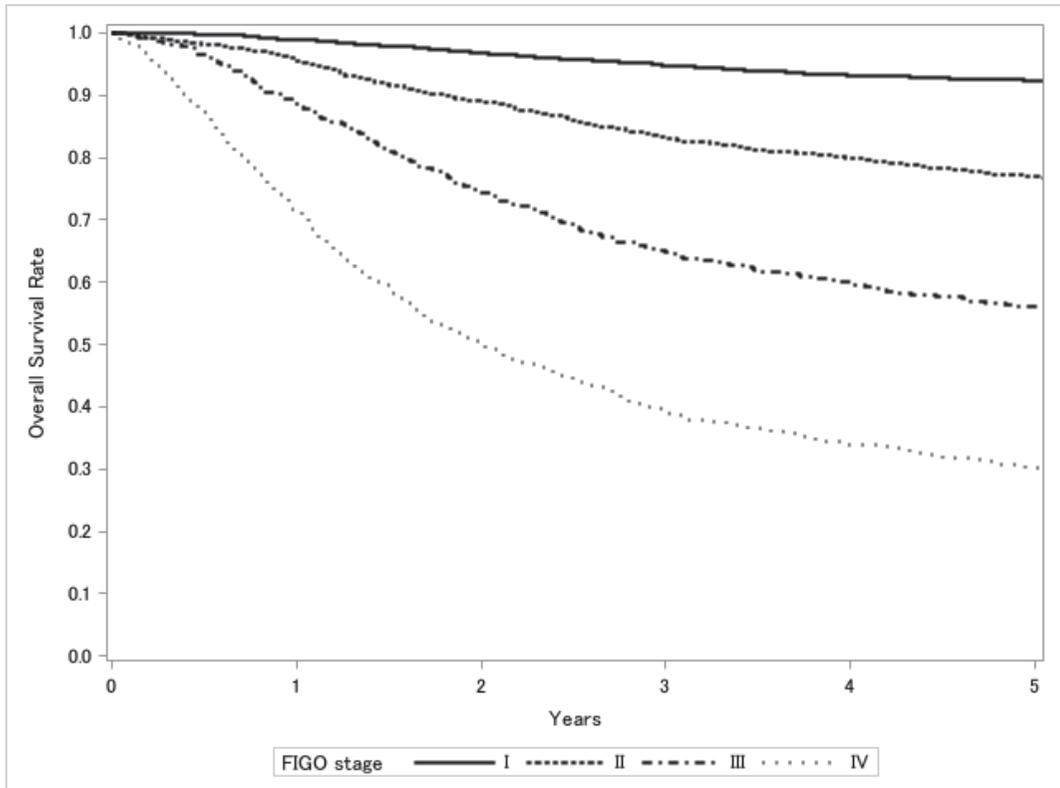


このほか外陰癌 226 例，腔癌 161 例，平滑筋肉腫 253 例，内膜間質肉腫 (LGESS 102 例，HGESS 74 例，UDS 29 例)，子宮腺肉腫 47 例が登録された。

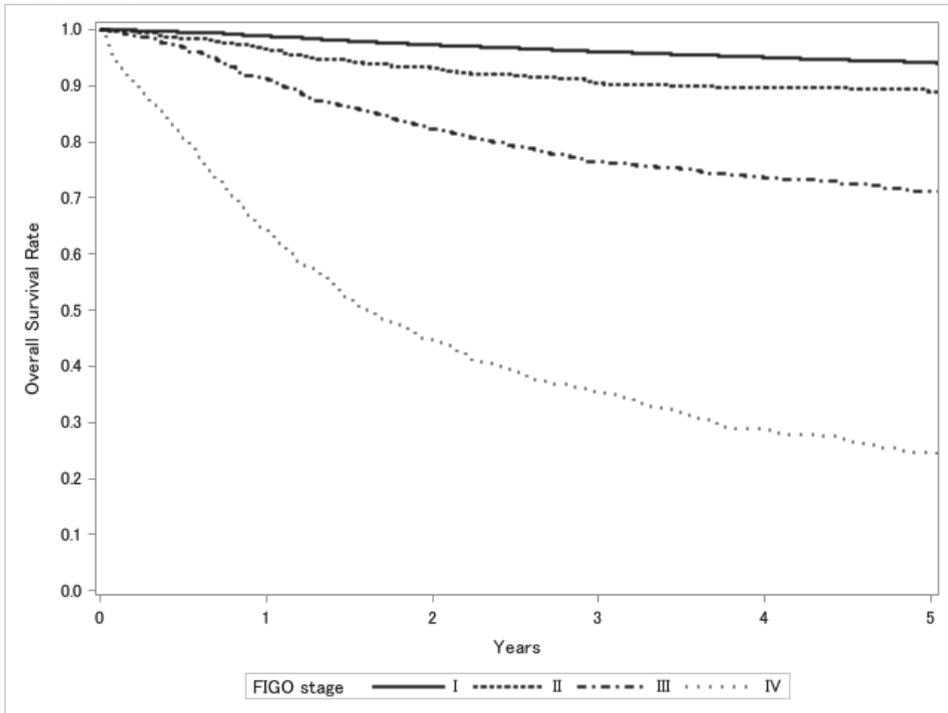
(3) 2016 年に治療を開始した子宮頸癌，子宮体癌，卵

巣腫瘍 (悪性・境界悪性) 症例の予後情報を集計・解析し，疑義照会を行ったうえで，学会 HP 並びに日産婦誌に，第 64 回治療年報 (2016 年治療開始症例) として報告する。以下に第 64 回治療年報の抜粋を示す。

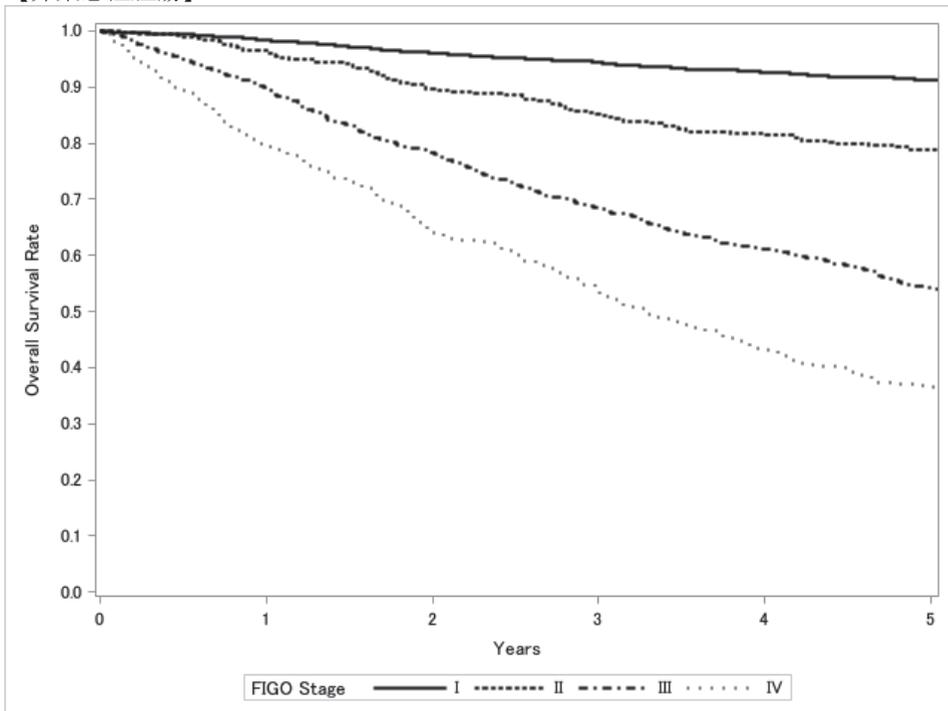
【子宮頸癌】



【子宮体癌】



【卵巢悪性腫瘍】



- (4) 2019年患者年報および第62回治療年報(2014年治療開始症例)英語版をJOGR誌(J Obstet Gynaecol Res. 2022 Mar; 48(7): 1570-1579. doi: 10.1111/jog.15284.)に投稿した。
- (5) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)施行・登録施設(新規, 更新)申請について, 申請内容を精査し, 登録施設はHP上で施設名を公開した。

2. 親委員会活動について

- 婦人科悪性腫瘍登録事業データベースを用いた子宮頸癌・子宮体癌・卵巣腫瘍の治療動向の推移および登録事業の課題の検証について, 現在継続して行っている。
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)を実施する施設について, 規則に従い適時申請の受付, 審査, 承認を行っている。
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)に関する規則の改定を行った。
施行施設の新規申請を6月末, 12月末の年2回とし, 登録施設への変更は随時受け付けることとした。
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)の指針の改定を行った。
登録施設をAとBに分けた。Aは従来の登録施設であり, BはI A1期と診断された子宮頸がんに対して腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)を保険診療として提供する施設である。
- 「婦人科領域におけるロボット手術に関する指針」の改定を行った。
ロボット手術支援機器の機種拡充に適合する指針とした。
- 第75回学術講演会において, 「取扱い規約病理編の改訂ポイントと腫瘍登録の変更点」「クリニカルケースクションの解決に向けて」, 二部構成の委員会企画を設けた。
- 婦人科腫瘍学会, 産科婦人科内視鏡学会と共同し, 3学会合同データベース管理アプリの制作を進めている。
- 本邦における子宮内膜症の癌化の頻度と予防に関する研究(JEMS): 現在は追跡とデータクリーニング中であり, 今後結果のまとめを予定している。登録・予後調査は終了したものの, 症例の多い施設からの回答を待っているため最終段階のデータ収集中である。

3. 小委員会事業

本年度は4つの小委員会が設置され, 以下の活動が行われた。

- (1) 婦人科悪性腫瘍登録システムの運用と精度管理に関する小委員会

委員長 吉野 潔

委員 徳永英樹, 高橋史朗, 山上 亘,
山本英子, 横山良仁

①腫瘍登録に関して: 2022年分データについては現在登録可能。2023年分データは通常通りの登録スケジュールで行う。2022年12月発刊の卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌規約の大幅改定について学会等で周知を行い, 2023年症例については現行の規約と要項に従い, 2024年6月までに登録を行う。2024年分データから病理診断の大幅な改訂(卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌)を反映した登録になるため, UMINの登録は2024年秋からの予定である。

②絨毛性腫瘍登録について令和5年から開始予定となった。胞状奇胎はこれまで通り, 22施設からの地域登録も継続する。オンライン登録の入力項目について検討中である。

③腫瘍登録データのさらなる利活用を行うため10個のテーマを決め, 委員がそれぞれ1~2個を担当してデータ解析および論文化を予定している。

- (2) CINの診断, 管理, 治療の実態調査に関する小委員会

委員長 川名 敬

委員 上田 豊, 小林陽一, 添田 周,
西 洋孝, 宮城悦子

①CINの診断, 管理, 治療について診療ガイドラインの遵守状況等を検証した。まずCINについてのアンケート調査を行い, 次にがん検診やCIN管理におけるHPV検査の実際調査を行った。結果を日産婦学会学術集会で周知し, CIN管理やHPV検査の均てん化をはかる。

- (3) 婦人科悪性腫瘍に対する低侵襲手術の方向性を考える小委員会

委員長 小林裕明

委員 寺井義人, 西 洋孝, 横山良仁,
吉田 浩, 渡部 洋

①従来の「婦人科悪性腫瘍に対するロボット支援下手術に関する指針」, 「婦人科良性疾患に対するロボット支援下手術に関する指針」を本年度中に保険収載される予定の新規ロボット機器に対応するように「婦人

科領域におけるロボット手術に関する指針」として改定案を作成した。

②腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)に関する活動

- i. 当該手術の施行・登録施設申請のシステムを紙媒体運用から電子申請へ変更することに即した実施規則の改定(案)を作成した。
- ii. 当該手術をI A1期のみに限った保険診療でも実施可能とするための協議, および指針改定(案)を作成した。
- iii. 本年度の登録施設, 施行施設申請施設の審議を行った。

③NSD登録に関して, 2023年度からの術前から術後登録への変更に伴い, 登録項目の見直しと追加について協議した。

④調査研究 “本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術(MIS)の実態調査”のデータ収集の進捗確認と中間解析の結果を検討した。

(4) 婦人科癌の取扱い規約改訂に関する小委員会(馬場長委員長)

委員長 馬場 長

委員 小林陽一, 田畑 務, 吉野 潔,
渡部 洋

①3つの取扱い規約病理編(子宮頸癌, 子宮体癌, 卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌)を入稿し, 2022年12月26日に発刊した。

②UICC, ICCRに対応した規約病理編改訂に伴って, 規約臨床編へ転載を検討すべき事項の抽出をした。

③子宮体癌 FIGO2022 発出に合わせた日産婦進行期分類の変更の検討および規約臨床編作成の企画を行った。

④取扱い規約病理編の改訂ポイントについて日産婦誌投稿も準備している。

⑤卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌取扱い規約臨床編第1版補訂版を作成中である。